令和３年度　第２号　　令和３年６月30日

進路だより

茨城県立那珂高等学校進路指導部

卒業した先輩たちから 皆さんへのメッセージ

◎那珂高校の「進路の手引き」の特徴

那珂高校の進路指導部では、毎年「進路の手引き」を発行してすべての生徒に配布しています。国公立大学進学から私立大学、短大、高等看護専門学校、一般専門学校、公務員、企業就職と、幅広い希望進路に対応したガイドブックです。もちろん他の高校でもこうした冊子は作っていますが、本校の「進路の手引き」の特徴は、多くの受験報告書や受験体験記を掲載しているところです。

皆さんは知っていますか？　先輩たちは結果が不合格になった試験についても、その内容をていねいに受験報告書に書き残してくれていることを…。今回は、その一部を紹介します。

①　「自分の夢をかなえるための勉強」　　北見工業大学 工学部　Y先輩

大学進学を考えている皆さんに伝えたいことは、「大学に入るためだけの勉強」をするのではなく「大学に入り自分の夢をかなえるための勉強」をしてほしいということです。

受験勉強で躓きは沢山あります。面接練習でも行き詰ってしまう時が出てくると思います。そんなとき、諦めてしまっては今まで積み重ねてきたものが無駄になってしまいます。

そんな時は、先生でも友達でも親でも誰でもいいので、人を頼ってください。

◎大学に入ることが目的なのではなく、学びからつながる「夢」を実現すること。Y先輩はそこまで見据えて勉強をしていたのですね。

②　小論文の書き方とは　　釧路公立大学 経済学部　O先輩

試験の準備では「小論文」に力を入れました。練習を始めたころは、1日かけて書いた文章も、出題意図に沿うような内容が書けずにすべてやり直しになったり、難しいことを考えすぎて墓穴を掘ったりで、落ち込んでしまうこともありました。

担当の先生からは、「考え方は人それぞれなのだから、論文の主張に正解は無い。そうではなく、主張を裏付ける根拠を順々に、論理的に書いていくことが重要」。この言葉を受けてからは、すらすらと書けるようになりました。

◎小論文のポイントは…1）設問の趣旨にしたがって書くこと　2）主張や意見をその根拠とともに論理的に書いていくことです。

③　困難から逃げない　食らいつく　　医療創生大学 薬学部　N先輩

面接練習を始めたばかりの頃は、全然できていなくて、先生には「本当に薬剤師になりたいのか？」と言われてしまいました。とても悔しかったです。私は元々メンタルが弱い事もあり、面接練習をやめたいと思ったこともありました。それでも前に進もうと思い、先生に指摘されたことは少しでも答えられるように自分で調べたり、身近な人に相談したりして、少しずつ答えられるようになりました。

そして同じ先生から「前よりも良くなった」と言われた時は、嬉しくて自信が持てるようになりました。

◎挫けそうになったり、逃げたくなることは誰にでもありますよね。でもN先輩は逃げないで食らいつきました。「失敗➔修正➔改善」。何事もこれの繰り返しですよね。

④　現場の方からヒアリングを行う　　千葉商科大学 サービス創造学部　F先輩

（将来、旅行にかかわる職業に就きたいので…）

私たちの修学旅行を担当してくださった、近畿日本ツーリストの岡部さんにお話を伺えることになりました。岡部さんからは仕事に必要な資格、失敗から学んだこと、やりがい、やっていて良かったこと、仕事をするうえで気を付けていること、コロナ禍で変わったことなどについて、現場の具体的なお話を聞くことができました。とても参考になりました。

プレゼンのテーマが決まってからも、使用する写真やイラストを探すのに苦労しました。全部が完成した後にも、教頭先生などの先生たちにプレゼンを見ていただき、たくさんのアドバイスをいただきました。

◎現場や実地へフィールドワークを行ったり、専門の方々から聞き取りを行うことってすごく大事ですよね。そうして学んだことって「生きた知識」になるのです。

⑤ 『面接ノート』を作ってまとめる　　茨城キリスト教大学 看護学部　K 先輩

夢や目標が本格的に決まり、私が特に力を入れて取り組んだのは『面接ノート』の作成です。三年の夏頃にノートを購入し、本番を想定した質疑応答を文字に起こしました。

また、自分が体験した大学の雰囲気や模擬授業の内容など、進路に関することをひたすら書いていきました。些細なことでも面接時に役立つので、大学の説明会や模擬面接でも常にノートを持ち歩き、いつでもメモができるようにしました。

◎『面接ノート』は必須です。調べたこと、学んだこと、気づいたことなどをその都度メモをして、まとめていきましょう。

⑥ 最後まであきらめない　　茨城県警察官　K 先輩

家の中では常にテキストを持ち歩き、テレビの CM タイムや「今なら集中出来そう」というちょっとした“すきま時間”に、テキストを見て重要事項を覚えていました。みなさんも机で集中出来ない時は、場所を変えたり勉強法を変えたりして、自分に合った勉強法を見つけてください。

私は「ライバルは那珂高だけでなく他校にも沢山いる！」、「絶対現役で合格してやる！」という強い気持ちを持ち、日々勉強に励んでいました。

◎“すきま時間”の上手な使い方と「絶対に合格する！」という強い意志が成功につながったので

⑦ 問題を解く　何度も解く！　　那珂市消防　G 先輩

高 2 の夏から受験までのあいだに、地方公務員（初級）の問題集を 2 冊こなした。うち 1 冊は赤シートで答えが隠せるものなので、野球の練習で疲れた時や、勉強に煮詰まった時にかなり利用した。最終的には答えをすべて覚えてしまった。

高校 3 年になるとコロナ禍で学校は休校となった。私は市販されている消防士試験の問題集を繰り返し 5 回やることができた。私は那珂高校で充実した生活を送れたからこそ、夢に向かい、そして夢を勝ち取ることができた。私は諦めず、合格の為に最低限やるべきことはやってきた。

為せばなんとかなる！　那珂高校　ありがとうございました。

◎とにかく問題を解くこと。たくさんの問題を解くこと。そして何度も解くこと。公務員試験合格のために大事なことは、これに尽きます。

⑧ 企業研究を念入りに行う　　JR 水戸鉄道サービス　T 先輩

私が本格的に就職活動を始めたのは 7 月の下旬でした。まず、7 月の上旬から学校に届き始めたたくさんの求人票に目を通しました。そのなかで JR 水戸鉄道サービスの求人票に目が止まりました。

特に業務内容に注目しました。国家資格である電車の構内入れ換え運転の免許が取得できることや、事務やメンテナンス業務など多くの選択肢があることに魅力を感じました。これらの理由から、私は JR 水戸鉄道サービスを希望しました。

◎企業就職では、多くの企業を見学すること。じっくりと比較検討すること。決めた企業はよく研究をすること。これらが大切です。

ここに掲載した文章は、全体のほんの一部です。
生徒の皆さんは令和３年度版『進路の手引き』を開いて、本文に目を通してください。